

# 週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、  
真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう！



世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION  
(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

教会長：石垣 重広

## み言

### 「神様を解放してさしあげる 孝行息子娘になりましょう」

(天聖教 P126~139)

**12** 恨が宿った六千年の歴史過程は、どのように続いてきたのでしょうか。神様とサタンと人間を中心とし、ある条件を立ててくるものなのですが、これがすなわち祭物の峠です。六千年の摂理歴史を回顧してみると、旧約時代までは万物を通して祭物の峠を越え、新約時代にはイエス・キリストの実体を通して祭物の峠を越えました。それでは、成約時代には何を基準として祭物の峠を越えるようになるのでしょうか。聖徒たち、すなわち皆さん自身を通して越えるようになります。成約時代である今は、新郎新婦の名前を身代わりする皆さん自身を条件として、祭物の峠を越えなければなりません。皆さんがそのような祭物の峠を越えるまでは、この地上に真の平和と自由と理想の世界は成就されないのです。

**29** 僕のイスラエルをつくり、僕の国と僕の民族をつくり、ここに神様の息子が来て、その息子を信じ、イエス様のみ言を信じることによって僕から養子になり、イエス様が一段階上がるようになれば、イエス様を信じる人は息子になるのです。

イエス様は、何によって一段階上がるのでしょうか。この地の人間が墮落することによって人類の先祖がいなくなったので、先祖の立場に上がるようになれば、イスラエル民族は養子の立場で接ぎ木され、神様のみ前で相続権に對し得る、息子の名分をもつようになります。ですから、ローマ人への手紙第 8 章 23 節に、「御霊の最初の実を持っているわたしたち自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる」とあり、「あなたがたは再び恐れをいだかせる奴隷の霊を受けたのではなく、子たる身分を授ける霊を受けたので

ある。その霊によって、わたしたちは「アバ、父よ」と呼ぶのである」とあります。養子にしかたれませんが、今、キリスト教徒たちは養子です。養子は血統が違ふのです。

**33** 成約時代とは何でしょうか。地上において、家庭を中心として、父母様の愛を中心として理想世界に向かう過程、サタンが讒訴できない新しい世界に前進する過程が成約時代です。成約時代は、原理的に見れば、責任分担を完成した父母圏を意味するのです。

約束とは責任分担です。責任分担の約束を未完成にしたのが墮落です。旧約は昔の約束です。新約は新しい約束であり、成約は約束を成す時です。約束を成すというのは、世界の万民たちが責任分担を完遂することです。しかし、責任分担を果たせなかったために、個人、家庭、氏族、民族、国家、世界、天宙の責任分担が残されたのです。サタン世界まで生じたのです。責任分担を果たせないことによってサタンが生じたので、この責任分担を果たさなければなりません。

**14** 私たちは、神様を解放しなければならない運命に置かれています。「人類のゆえに神様が拘束を受けているのだ。私ゆえに神様が拘束を受けているのだ。私という一個体のために神様がサタンの讒訴を受けているのだ。私のゆえにイエス様も亡くなったのだ。私ゆえに聖霊が血のにじむ闘争の歴史を抱いて身もだえしてきたのだ。神様、私に力をお与えください。お父様を安息させ、解放の座に移してさしあげます。イエス様も聖霊も解放の座に移してさしあげます」と言えなければなりません。ですから、信仰に飢えた者、希望に飢えた者、愛に燃える者を、神様は六千年間求めてこられました。